



1



2



3



4



5



6



7

- 1 コロー《ナポリ近郊の思い出》
- 2 フォンタネージ《牛を追う農婦》
- 3 梅原龍三郎《竹窓読書図》
- 4 東山魁夷《門》
- 5 峯岸魏山人《九十九谷》
- 6 高村光太郎《薄命児男子頭部》
- 7 千代倉桜舟《心・翔・穹》

千葉県移動美術館は、千葉県立美術館が所蔵する作品をより多くの県民の皆さまにご鑑賞いただくために、県内市町村と協力し文化施設等を会場として開催している展覧会です。

千葉県立美術館は、昭和49(1974)年に開館して以来、千葉県ゆかりの作家や作品をはじめ、国内外の優れた作品の収集・活用(展示)・保存に努めてまいりました。現在、日本画・洋画・彫刻・工芸・版画・書の各分野の作品約2,800点を所蔵しています。

木更津市郷土博物館金のすずでは、平成22(2010)年1月に千葉県立美術館収蔵作品巡回展を開催しており、作品の展示は2回目となります。今回は、木更津市及びその周辺地域にゆかりのある作家の

作品や房総地方にかかわりのある作品と、併せて著名作家の名品を鑑賞していただけるように選定しました。

洋画では浅井忠、コロー、ドービニー、フォンタネージ、梅原龍三郎、林俊衛、椿貞雄、熊谷文利などの作品をご覧いただけます。さらに、日本画では東山魁夷、若木 山、峯岸魏山人の作品を、彫刻では、高村光太郎、安西順一、梅原正夫の作品を、工芸では、津田信夫、香取秀真の金工作品に加え、板谷波山、宮之原謙の陶芸作品や藤田喬平のガラス工芸作品を、書では、浅見喜舟、小暮青風、千代倉桜舟、他にも石井雙石の篆刻作品を、版画では、石井柏亭、川瀬巴水、深沢幸雄の作品など、29点におよぶ名作をお楽しみください。